

看護部



看護部長
池田 仁美

国立病院機構の理念に沿った病院の使命を認識し、機構の看護職員として以下の役割を果たす

1. 機構及び病院の理念を踏まえた良質の看護サービスの提供に努める
2. 看護の質の向上を目指し、臨床看護の研究、業務の改善を行う
3. 良質な看護を提供するために、看護職員をはじめ看護に関係する職員の教育研修を行う
4. 看護の提供と経営効率の調和を図り、病院経営に参画する
5. チーム医療推進のための調整を図る
6. 地域住民への健康教育活動に参画する

□ 看護部の理念

私たちは、常に患者さんと共に歩み、
安心して納得のいく医療を受けていただくために、
わかりやすく丁寧な看護を提供いたします

□ 看護部の目標

【令和元年度 看護部目標】

スローガン 「高い倫理観をもって、優しく、丁寧に、確実に」めざせS評価!

1. 急性期医療を担う看護力の向上
2. 地域のニーズに応える看護連携の推進
3. チームワークの強化・連携による働き方改革
4. 病院経営への積極的な参画

□ 看護部の組織

I. 看護部組織図

(別紙1：看護部組織図)

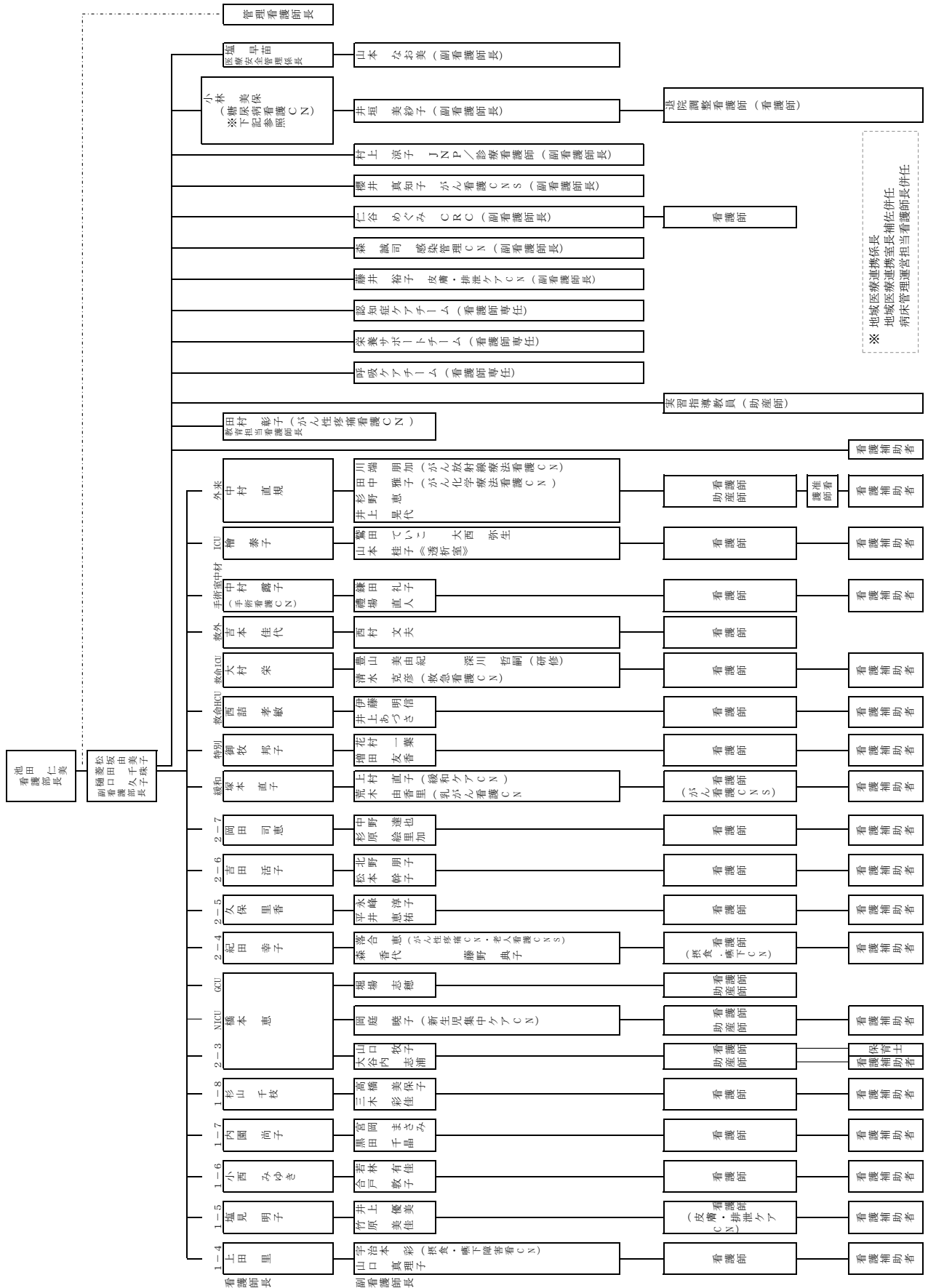
II. 看護部会議・委員会

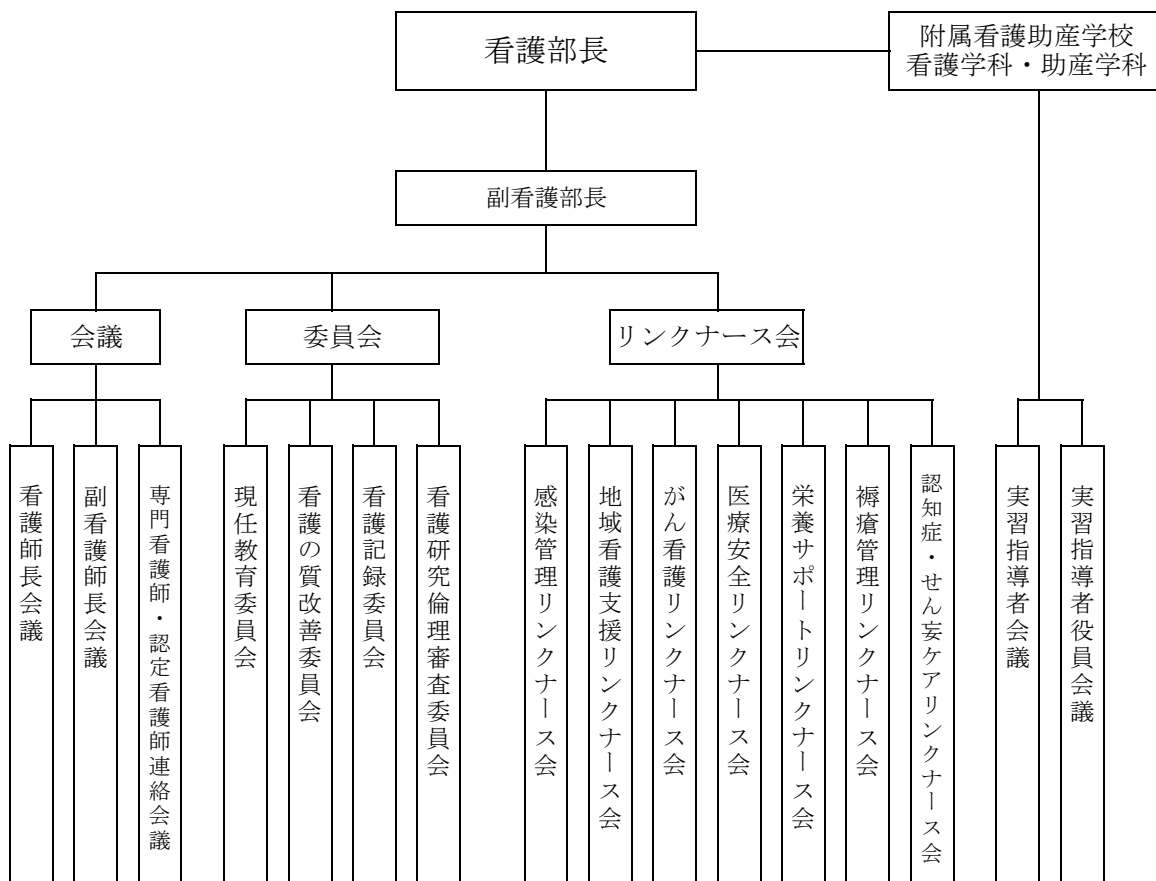
(別紙2：看護部会議・委員会機能図)

□ 看護部の活動

(別紙3：看護部の活動)

別紙1：看護部組織図





看護部が関わる主な病院諸会議

- 管理診療会議
- 経営企画・業績評価委員会
- サービス向上委員会
- 薬事委員会・医療材料委員会
- 診療報酬管理委員会
- 病床管理委員会・小委員会
- 外来管理委員会
- 手術室運営委員会
- 集中治療室運営委員会
- 救命救急委員会
- 緩和ケア運営委員会
- 地域医療連携委員会
- 褥瘡対策委員会
- 栄養管理委員会・NST委員会
- 倫理委員会・小委員会
- 透析委員会・小委員会
- 臨床検査委員会
- 輸血療法委員会・小委員会
- 化学療法委員会
- 医療安全管理委員会
- 医療事故対策委員会
- リスクマネージャー会
- 院内感染対策委員会
- 災害対策委員会・小委員会
- 医療機器安全管理委員会
- 医療情報委員会・小委員会
- クリティカルパス委員会
- 広報委員会
- 安全衛生委員会
- 動物実験委員会

別紙3：看護部の教育計画・委員会活動状況

	委員会名	活動目標	活動計画
委員会	現任教育	1. ラダー別研修計画の企画運営ができ、研修生が到達目標を達成することができるよう支援する 2. 集合教育と機会教育の連携を強化し、教育体制を充実させる。 3. キャリアアップと離職防止につながる支援を行う。	1. 看護職員能力開発プログラム到達目標に沿った集合研修の企画運営と評価 2. 機会教育における研修前、研修後の計画的な支援と指導者への周知 3. 質の高い看護職員の確保・看護職員の離職防止に向けた活動
	看護の質改善	1. 看護手順を厳守した看護実践が出来る 2. 身だしなみ・マナー・接遇基準に基づいた行動がとれる 3. 患者満足度を向上する（退院時アンケートより評価）	1. 手順を厳守した看護実践・看護手順の改定 2. 身だしなみ・マナー・接遇調査（6月・10月）、接遇に関する苦情を事例討議する 3. 退院時アンケート調査（6月・11月）
	看護記録	1. 病院機能評価を見据えた、看護のプロセス、多職種協働のケア実践がわかる記録の周知と教育 2. 看護記録記載基準に沿った記録の指導を行えるスタッフの育成 3. 看護記録システム上の問題を解決する	1. 各種テンプレートの作成、テンプレートの活用の評価 2. 退院時サマリーの運用周知、徹底 1. 看護記録監査表の作成 2. 看護記録の監査 1. 問題の抽出 2. 新システム、記録方法の周知
	看護研究倫理審査	1. 看護研究の倫理審査を行う 2. 看護研究能力向上への支援を行う	看護研究倫理審査小委員会の開催
チーム会	感染管理チーム	1. 院内感染対策マニュアルに基づいた標準予防策・感染経路別予防対策が各部署で実践できる 2. 感染防止の視点で環境整備が出来る 3. ICTと連携して各部署の感染対策に取り組むことが出来る	1. 手指衛生遵守への取り組み、個人防護具の適正使用について、マニュアルに基づいた感染対策の実施 1. 環境ラウンド、環境整備を継続するシステム構築の取り組み 1. ゴージャージ使用量データ収集及び各種調査、インフルエンザ・感染性胃腸炎の対策周知
	地域連携リンクナース会	1. 退院支援技術を向上し、自部署の退院支援が強化できる 2. 病院機能評価を見据え、必要な患者に在宅などで継続したケアを実施する	1. 退院指導の充実・リーフレットの作成 2. 病棟から外来への連携、カンファレンスの充実 3. 退院前カンファレンス・介護連携カンファレンス 4. 退院前後訪問 1. 入退院支援に関わるケアプロセスの検証 2. 京都南部地域連携交流会の参加
	がん看護チーム会	1. 医師と協働し、がん患者の心身の苦痛に対する評価が出来、看護介入することが出来る 2. がん患者の心身の苦痛に対する記録の充実を目指し、がん看護の質の向上を図る	1. がん患者指導管理料2加算取得状況の確認 2. 心理的苦痛緩和への介入についての検討、コミュニケーションスキルの向上 2. 疼痛緩和における情報共有と経時的観察により、効果的な疼痛管理ができる 1. 昨年度の誤薬インシデントの現状の共有 2. 6R指差呼称が徹底出来るよう要因分析と対策立案と実施と評価 3. 6R指差呼称行動の監査
	医療安全リンクナース会	1. 誤薬のインシデントを昨年より減らすことが出来る 3. 医療安全にかかる看護記録が確実に実施出来る	1. 転倒転落や行動制限に関する記録が徹底出来るよう対策立案と実施・評価 2. 看護記録の監査の実施
	NSTリンクナース会	1. リンクナースが摂食機能療法についての知識・技術を習得する 2. NST・STと連携し実践力向上を図ることが出来る	1. 摂食機能療法についての技術習得 1. 摂食機能療法の対症患者の抽出と看護計画の立案、ケア実践
	褥瘡管理チーム	1. ポジショニング技術についての知識・技術を習得し、実践力向上を図ることが出来る 2. 患者の個性に合わせた褥瘡予防計画立案と実践・評価ができる 3. 褥瘡発生件数および医療機器関連圧迫創傷発生件数を昨年より減少することが出来る	1. ポジショニングマスター試験の実施 2. 各部署でポジショニングマスターとしての活動目標の設定と活動 1. 危険因子評価表を活用した定期的なリスクアセスメントの実施とマニュアルの整備 2. 昨年度作成した褥瘡、医療機器関連圧迫創傷の標準看護計画の運用 3. 実施記録および評価記録の整備 2-3. 自部署の褥瘡および医療機器関連圧迫創傷の発生要因の傾向に合わせた対策を考え取り組みを行う
	認知症・せん妄ケアチーム	1. 認知症、せん妄ケアの内容が見える記録が出来、適切に認知症ケア加算が取得出来る 2. 倫理的な姿勢で認知症・せん妄患者個々に適切なケア提供が出来る	1. 看護記録監査による認知症ケア加算取得の適切性の評価および改善点の明確化 1. 認知症ケアラウンドの実施
	連絡会	1. 組織横断的な活動を行い、実践や集合教育を通して当院の看護実践力の強化する 2. 院内外に向けた広報活動ができる	1. セミナーや院内研修・学習会の企画・運営・評価 2. 院内の情報や、病棟管理者のニーズを把握して、OJTの活動を増やす 3. ポスター、ホームページの更新、連絡会が企画する学習会の広報

平成31年度 病院目標 : 地域のニーズと信頼に応え、親切的な統合的高度医療を展開する

平成31年度 看護部スローガン「高い倫理観を持って 優しく丁寧に・確実に」

看護部目標	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	2-3	NICU/GCU	2-4	2-5	2-6	2-7
急性期医療を担う看護実践力の向上	専門的知識を深め、倫理観を持ち優しく丁寧な看護が実践できる。	1. 急性期の状態変化を予測できるアセスメント力および、看護実践力の向上	1. 専門性の高い糖尿病看護の実践	1. 消化器疾患を担う看護実践力の向上	1. チーム力により実践力を高め、アセスメント力を向上させる	知識と技術、予測力の向上をほかり、急性期医療、周産期医療に対応できる看護の提供	ハイリスク新生児とその家族に対する看護実践能力の向上を図る	1. 脳神経疾患および内分泌疾患の専門性を発揮できるよう看護実践能力を強化し、個々の患者に適切な看護を提供する	1. 急性期医療に対応できる看護技術の習得と、整形外科看護実践能力の強化ができる	1. 急性期看護の基礎看護力を向上する	1. 根拠に基づいた循環器看護力の向上と技術の伝承
地域のニーズに地域連携を高め、看護実践力の向上	入院時より退院を目標とした看護介入を実施し、地域との連携を強化する。	2. 入院時から多職種と連携、退院後の生活を支援した退院支援の強化	2. 倫理的視点をもち、患者の職業生活を支援し、退院支援ができる	2. 入院時、退院後の生活を助言するカンファレンスの充実と地域連携の推進	2. 患者、家族が望む、療養所で過ごせるよう、多職種と協働し退院支援を充実させる。	入退院支援センターと連携し、個別性に合わせたスムーズな入退院支援	継続した退院支援を行っていることのできる	2. 多職種と連携し、患者が安心して退院できるように支援できる	2. 地域との連携を強化し、退院支援が推進できる	2. 多職種との連携を強化し、入院前から患者・家族の希望する退院後の生活を先読みした支援ができる	2. 心不全患者の地域ニーズに応えるきれいな看護の提供
病院長への積極的な参画	病院長への参画を促し、働きやすい職場環境を整え、業務改善を行う。	3. チーム力を強化し、働きやすい環境をつくる	3. チーム力強化、業務改善による働きやすい職場環境の整備	3. 他職種との協働による働きやすい職場作り(労働環境整備)	3. 初患的・効果的な病棟管理、確実な加療取得、および重症度、医療・看護必要度の確実な入力による経営への貢献	積極的な業務改善を行い、働きやすい職場作り	多職種協働カンファレンスを実施し、ケアに活かすことができる	3. 固定チームナースの強化を図り、効果的に効果的な看護が実践できる	3. チームワーク強化、看護業務の見直しにより、働きやすい職場作りができる	3. 適切な病棟管理、看護必要度の正確な入力を行うことで病棟経営に参画できる	3. 情報収集の簡素化で働き方改善、業務改善
チームワーク強化、連携による働き方改善	チーム力を強化し、働きやすい職場環境を整え、業務改善を行う。	4. 経営に関する知識を高め、業務改善の取り組みを推進する。	4. 適切な処置入力の実施と物品管理を行い、コスト削減が実践できる	4. 重要な処置入力と正確な重症度、医療・看護必要度入力	4. 1) 固定チームナースの強化によるチーム力の向上2) ワーク、看護助手も含めた業務内容の見直しによる看護業務の効率化	経営意識を持って病棟運営に参画	医療物品の管理、処置、算定漏れを防止、コスト削減が実施できる	4. 適切な病棟運営とコスト意識をもち、病棟経営に積極的な参画ができる	4. 効果的な病棟管理、経営意識の向上により、病棟経営に参画できる	4. コミュニケーションを強化し、チームワーク力を高め患者を思いやる看護ができる	4. 看護必要度30%以上を維持する病棟管理、心不全緩和ケアの充実

平成31年度 病院目標：地域のニーズと信頼に応え、親切的な統合的高度医療を展開する

平成31年度 看護部スローガン「高い倫理観を持って 優しく丁寧に・確実に」

特別室	緩和	ICU	HCU	救外	手術室	集中治療室	外来	地域医療連携室
<p>1) 全診療科に対応する看護実践力の向上</p> <p>2) 質向上に向けた固定チームナースの強化</p> <p>3) 看護研究に取り組み専門性を深める</p>	<p>1. 根拠に基づいた看護実践力の高め、アセスメント能力の向上を目指す</p> <p>2. 緩和ケア外来を連携強化</p>	<p>1. 救命救急センターICU入院患者の満足度を高める看護実践力の向上</p> <p>2. 救命救急センターとして三次救急病院としての役割を發揮する</p>	<p>1. 集中治療領域における看護実践力の強化</p> <p>2) 患者と家族の思いに寄り添う看護が提供できる</p>	<p>1. 救急外来受診患者の満足度向上を目指す看護倫理・看護実践力の強化</p> <p>2. 地域医療連携の中核として三次救急病院としての役割を發揮する</p> <p>3. カテーテルを受ける患者への看護実践力の向上</p> <p>4. 医師・研修医・コメディカルとの協働・連携強化</p>	<p>1. 根拠を持った高い看護ケアの提供</p> <p>2. ニーズに対応できるか、ごの提供と環境作り</p> <p>3. 働く人にも優しい環境と丁寧な医療による安全体制の強化</p>	<p>1. 看護実践力の強化と倫理的視点の向上</p> <p>2. 適切な病床管理とスムーズな緊急入室受け入れ</p> <p>3. 看護業務見直しと改善による時間外勤務の削減と年休取得の促進</p> <p>4. 特定集中治療室の重症度、医療・看護の必要度に応じた病床運営と確実な診療報酬請求</p>	<p>1. 急性期医療を担う外来看護実践力の向上</p> <p>2. 病棟、地域社会福祉、訪問看護師との連携強化</p> <p>3. 管理加算算定への積極的な参画</p> <p>4. 診療科配置体制の改革 採血業務の改革</p>	<p>人退院支援の実践力の向上</p> <p>多職種と連携・協働し入退院支援を行う</p> <p>人退支援センター・診療受け付けセンター・退院支援センターの連携強化と業務改善</p> <p>正確な空間運算と適切なコスト管理</p>
<p>1) 看護チームとして業務を見直し、改善に取り組み</p> <p>2) 効果的な他部門との協働を進める</p>	<p>3. チーム力強化と働きやすい職場環境の整備をおこなう</p>	<p>3. 業務内容の見直しにより、働きやすい職場環境ができる</p>	<p>3. チーム力の強化による職場環境の整備と改善ができる</p> <p>4. 経営への意識を高め、適切な物品管理と処入り力削減の削減ができる</p>	<p>4. 医師・研修医・コメディカルとの協働・連携強化</p>	<p>4. 多職種と連携した効率的な手術室運営</p>	<p>4. 特定集中治療室の重症度、医療・看護の必要度に応じた病床運営と確実な診療報酬請求</p>	<p>4. 診療科配置体制の改革 採血業務の改革</p>	<p>正確な空間運算と適切なコスト管理</p>
<p>1) 緊急入院の受け入れによる効率的な病床運用の継続</p> <p>2) 広報活動による病棟知名度・病床利用率の向上</p>	<p>4. 院内・院外との連携を強化し、病床利用率をあげる</p>	<p>4. 病棟における管理加算等の取得率の増大と物品管理の徹底を図る</p>	<p>4. 経営への意識を高め、適切な物品管理と処入り力削減の削減ができる</p>	<p>4. 医師・研修医・コメディカルとの協働・連携強化</p>	<p>4. 多職種と連携した効率的な手術室運営</p>	<p>4. 特定集中治療室の重症度、医療・看護の必要度に応じた病床運営と確実な診療報酬請求</p>	<p>4. 診療科配置体制の改革 採血業務の改革</p>	<p>正確な空間運算と適切なコスト管理</p>

看護研究業績

1) 院内研究発表・成果発表（令和元年度）

	テーマ	部署	発表者名
1	褥瘡発生件数の減少をめざして ～ポジショニング院内認定制度の効果と課題～	看護部長室	藤井 裕子（口述）
2	医療のニーズが高い患者の退院支援	1 病棟 4 階	姫野 美玖
3	認知症ケア加算対象患者に対する看護実践内容を充実させる	1 病棟 6 階	平野 雅哉
4	専門性の高い看護実践に向けての取り組み ～1-6 病棟チーム活動報告～	1 病棟 6 階	三田 基世
5	業務改善 ～働きやすい環境で看護の質の向上に繋げよう！～	1 病棟 7 階	喜多田 泰子
6	安全に・安心してこどもが入院できるように	2 病棟 3 階	菊池 尚子
7	分娩に対する振り返りの習慣化	2 病棟 3 階	塩川 紗衣
8	NICUにおける災害対策について	NICU	山川 安奈
9	転倒転落予防に関するカンファレンスの充実	2 病棟 4 階	川人 省子
10	急性期病院における病棟デイケアの効果と今後の課題	2 病棟 4 階	泉谷 聖子
11	経口摂取が困難となり在宅中心静脈栄養が必要となった患者への退院に向けた関わりについての考察	2 病棟 6 階	古田 愛也
12	特別室個室病棟におけるがん看護の実際 ～多職種連携による症例報告～	特別室個室病棟	中村 寛子
13	いきるを支える ～エンド・オブ・ライフの看護実践をとおして～	特別室個室病棟	南 真由美
14	特別室個室病棟におけるアロマセラピーの使用状況	特別室個室病棟	西谷 由香
15	救命救急センターHCUにおけるリハビリテーション介入率上昇への取り組み～リハビリテーションカンファレンスを通して得た結果と今後の課題	救命救急センターHCU	伊藤 明信
16	ドクターハート症例における各部署での振り返り評価 ～看護師アンケートからの分析と今後の課題	救急外来	久保田 大樹
17	多数傷病者受け入れから見えた当院の課題について	救急外来	藤田 一成
18	チームで育てる環境作り ～朝の5分間を有効活用する～	手術室	禮場 直人
19	外科病棟で勤務する看護師のエンドオブライフケアに対する思い ～インタビューによる一考察～	集中治療室	山本 美奈
20	外来化学療法センターでの外来化学療法導入患者の支援における多職種連携の取り組みについて	外来化学療法センター	田中 雅子
21	緩和ケアチームの実践報告	緩和ケアチーム	櫻井 真知子
22	専門・認定看護師による新たな学習会の取り組み ～出前学習会の実践報告と今後の課題～	専門・認定看護師連絡会	落合 恵
23	認知症・せん妄リンクナース会活動報告と次年度の課題 ～症例検討会を中心に～	認知症・せん妄リンクナース会	豊山 美由紀

2) 院外研究発表（令和元年度）

	テーマ	学会名	開催日	部署	発表者名
1	病床再編成に伴う糖尿病看護教育プログラムの見直し	第61回 近畿看護学会	9/1	1 病棟 6 階	合戸 敦子
2	血管造影介助看護師教育にラダー教育を導入して	第61回 近畿看護学会	9/1	救急外来	池本 知子
3	病状進行により治療中断をせざるおう得なかったがん患者の危機への介入	第61回 近畿看護学会	9/1	2 病棟 3 階	嶋田 有芽
4	人工呼吸器管理の必要な独居患者への退院調整	国立病院総合医学会	9/1	2 病棟 4 階	佐藤 菜月
5	カンファレンスの場面を通してリーダー育成を行うことによるチーム力への影響	国立病院総合医学会	9/1	副看護師長会議	伊藤 明信
6	A病院のICUにおける医療者が患者に及ぼすストレス要因	国立病院総合医学会	9/1	副看護師長会議	落合 恵
7	治療継続を望む終末期にある肺がん患者と妻への意思決定支援	国立病院総合医学会	9/1	1 病棟 8 階	布施 克美
8	手術看護記録の形式監査から見えた今後の課題	令和元年 日本手術看護学会	10/11, 10/12	手術室	大森 富美子
9	手術室新人看護師の手術室に配属された同期看護師との関わり～同期に対する思いに着目して～	第33回 日本手術看護学会 年次大会	10/23, 10/24	手術室	田中 めぐみ
10	緩和ケアにより在宅生活が可能となった心アミロイドーシス末期心不全の症例	第23階 日本心不全学会学術集会 C O I 開示	10/	2 病棟 7 階	貞方 良太
11	急性期病院における認知症ケアチームの活動と今後の課題	国立病院看護研究学会	12/15	認知症ケアチーム	落合 恵

3) 著述発表（雑誌投稿・執筆依頼）（令和元年度）

出版社	雑誌名	テーマ	部署	著者名
株式会社 メディカ出版	消化器ナーシング 2020 VOL25 no2(97)1	先輩&後輩ナースのハイタッチ！ リレー日誌	1 病棟 7 階	宮岡 まさみ
株式会社 メディカ出版	消化器ナーシング 2020 VOL25 no2(94)	先輩&後輩ナースのハイタッチ！ リレー日誌	1 病棟 7 階	櫻井 実沙季
株式会社 メディカ出版	周手術期看護月刊誌鍵 「オペナーシング」	日本手術看護学会地区レポート 近畿地区	手術室	中村 露子
株式会社 メディカ出版	糖尿病ケア 16巻12号	初診患者から治療中断患者までシーン別 に考える	地域連携室	小林 美保
株式会社 メディカ出版	糖尿病ケア 2020年春季増刊号	糖尿病看護きほんノート 治療・ケア・ 患者教育をらくらく理解♪ 糖尿病の知識レベルがアップするミニ ブックつき	1 病棟 6 階	合戸 敦子
株式会社 メディカ出版	消化器ナーシング 25巻3号	後輩ナースに胸を張れ！ De 畑が語る！理由 “から学びなおす 術前術後の最重要ケア コラム②「よい記録」ってどんな記録？	2 病棟 6 階	吉田 活子